

高速道路規制エリア 侵入車両検出口ロボット



(参考価格)

¥5,000,000

本装置は、300m先から近づいてくる車を識別し3次元で位置・距離・速度を識別します。高速道路上では工事現場に居眠り運転などの車が突っ込み毎年50名以上の作業員が死傷しています。増え続ける死傷事故を減らすため、危険車両を検知し作業員に避難指示を出す装置を開発しました。本装置は、ステレオカメラと画像認識技術を使い、複雑な道路形状を認識した上で、自動で形状に合わせて300mの監視ゾーンを設定し、自動車やバイクを周囲風景の中から識別し監視を行います。また、手書きで2次元のタッチパネル上に3次元で300m先まで監視エリアを設定できる機能もあります。本技術は、自動車に搭載する高度な運転支援ナビや手術ロボットの3次元操作へ応用できます。



ここが
ポイント!

- ステレオカメラとレーザーによるセンシング技術および画像処理・画像認識技術
- 特定ものづくり基盤技術:組込みソフトウェアに係る技術

【企業PROFILE】

知能技術株式会社

代表取締役 大津 良司

大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビル414

Tel : 06-6362-1008 Fax : 06-6362-1018

<http://www.chinou.co.jp>

企業からのひとこと!

尊い人命を守ることに当社技術が生かされることを誇りに思います。

また、この技術は海外からも強く求められており、世界中へ普及する「日本発の社会に役立つ先端技術」として人命を守ることに貢献します。